



OMESOGO

愛されるチームに。愛される人に。



2021/4/30

新1年生を迎えて

4月7日に無事入学式を終え、男子サッカー部にもプレーヤー6名、マネージャー3名の計9名の新1年生が入部しました。これで**プレーヤー22名、マネージャー3名の計25名**となり、青梅総合の他部活と比べても、大所帯のチームになってきました。人数が多い分、これまで以上に普段の学校生活から男子サッカー部としての**自覚と責任**をもって行動していきます。

入学前から練習参加したいと強い気持ちをもって入ってくれた選手など、意欲の高い1年生に2,3年生も刺激をもらってチームがより活発になってきました。1年生はプレーヤー6名と多くはありませんが、公式戦前で緊張感のある**激しい練習にも臆することなく**、むしろしっかりとチームに溶け込んで戦える6名です。また、マネージャーも入部直後から、走り回って練習のサポートを一生懸命してくれています。新1年生の今後の**活躍にご期待ください!**

インターハイ東京西支部予選

コロナ対応や緊急事態宣言発令による対応で大変ななか、大会役員や会場校の皆様などのおかげで、今年度はインターハイ予選が開催されました。昨年度は中止となったため、2年ぶりとなります。

青梅総合の初戦は4月25日、相手は**東京電機大学高校**です。情報は多くありませんでしたが、我々ができることをしっかりやろうと試合まで準備を進め、当日を迎えました。

「初戦は必ずどのチームも硬くなるから、**入りを集中しよう**」と確認をし、アップから雰囲気良くできたことで、若干の硬さはありながらも試合の入りはまずまずでした。何度かチャンスもありましたが、決めきれません。

前半15分頃、ハーフウェーラインから5mほどの自陣左サイドで相手へのプレスが少し遅れてしまったところから、スルスルと右サイドペナルティエリア付近までボールを運ばれ、相手に得点されてしまいます。チャンスを逃している、一発で相手にやられてしまう、これが**サッカーの怖さ**です。

その数分後、青総GKが浮き球をキャッチに行った際、相手選手との接触で膝から地面に落ちてしまいま

した。動くことができず、そのまま負傷交代。新1年生 GK に代わります。さらには DF の要であるキャプテンも手首を負傷してしまいます。

チャンスが何度かあった分、連続したアクシデントに選手たちは少し下を向きかけます。しかし、ベンチからの**仲間の声に奮起**し、なんとか自分たちで声を出しながら前を向いて戦います。

後半から新1年生を入れ、チーム一丸となって逆転勝利を目指します。しかし、サッカーの神様はそう簡単には微笑んでくれません。自陣右サイドの遠い位置から相手選手が蹴ったボールが GK の頭上を越えてゴールに吸い込まれてしまいます。2点のビハインドです。なんとかひっくり返そうと、選手交代をしながら攻撃の枚数を増やし、選手たちも**必死に戦います**。

何度もチャンスを作るもののなかなか点が入りませんが、残り5分頃に**3年生10番**がチャンスに飛び出し、冷静に得点。**1点を返します**。その後も攻め続け、終了間際にコーナーキックを獲得。1年生キッカーがあげたボールに大勢で飛び込み、合わせますが、ゴール右に僅かに外れます。

最後まで果敢に攻めたものの、あと1点が遠く、敗れました。アクシデントがありながらも、チーム一丸となって最後までやり返そうと**気迫をもって**戦えるチームに成長してきました。ただどんなに良い試合をしても、負けは負けです。

今はコロナの影響で活動できませんが、この悔しさをバネに、3年生最後の大会となる選手権予選まで残り3か月半、**勝利をつかみ取るため**に、しっかりと準備していきます。引き続き応援よろしくお願ひ致します。

